

第 36 期 第 3 回 理事会 議事録

日時：2025 年 9 月 27 日（土）14:00～17:00

場所：産業医科大学東京事務所 & Zoom 会議

出席者（50 音順、敬称略）：浅海、荒木、池上、岡原、小笠原、加藤、喜多村、楠本、久保、倉岡、高畑、佐藤、中谷、西、橋元、樋上、深井、本田、増田、守田、山下、山本

特別参加：堀江正知 先生/副学長、高橋宏典、

欠席：池上、清水、山瀧

1. 会長挨拶（西）

理事のみなさん、理事会へのご参加ありがとうございます。第 2 回理事会からの会の動向を振り返りますと、第 37 回全国大会について各所へのご挨拶や大阪関西万博で開催されたユースコンgresの応援、産業医科大学医学部一年生を対象とした合同フォーラム・合宿への参加などがあり、産推研を知っていただくことができました。また、今期は理事選挙があり、第 37 期からの新しい体制が決まりました。心新たに取り組んでいきたいと思います。

2. 大学近況（副学長 堀江様）

[教育]

第 4 次中期計画の主な数値目標（令和 4～9 年度）

- 医師国家試験合格率
全国上位 4 分の 1 以内または合格率 95%以上（目標）
31 位/82 校、94.5%（令和 6 年度実績、全国 92.3%）
- 看護師国家試験合格率
全国平均合格率 5 ポイント上回る（目標）
100%（令和 6 年度実績、全国 95.9%）
- 保健師国家試験合格率
全国平均合格率 5 ポイント上回る（目標）
100%（令和 6 年度実績、全国 96.4%）
- 常勤の産業医輩出数
420 名以上/6 か年（目標）
80 人（令和 6 年度実績）

第 4 次中期計画の主な数値目標（令和 4～9 年度）の見直し

入学者選抜試験志願倍率

- 医学部 20.0 倍（目標）、20.8 倍（令和 7 年度入試実績）
→令和 9・10 年度入試で、23 倍の予定を 20 倍に変更

- 産業保健学部看護学科 4.0 倍（目標）、3.4 倍（令和 7 年度入試実績）
→令和 9・10 年度入試で、学校推薦 2 倍、一般選抜 5.5 倍
- 産業衛生科学科 3.6 倍（目標）、1.6 倍（令和 7 年度入試実績）
→令和 9・10 年度入試で、学校推薦 2 倍、一般選抜 3 倍

産業医大認定ハイジニスト試験

受験資格者；産業保健学部産業衛生科学科卒業生

第 1 回試験（令和 7 年 6 月 7 日） 出願 15 名、受験 12 名、合格 10 名

第 2 回試験（令和 7 年 9 月 6 日） 出願 2 名、受験 2 名、合格 1 名

衛生工学衛生管理者研修

3 月に産業衛生科学科卒業生全員受講

（8 月に学科卒以外も対象に実施、医学部卒受講者あり）

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 4 年度改訂版）

看護学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 6 年度改訂版）

への対応

[研究]

- 災疾病臨床研究事業及び厚生労働科学研究採択、産業医学に関する社会実践事業
15 件（目標）
17 件（令和 6 年度実績）
- 各組織の研究者と共同で実施する産業医学関連新規研究数
40 件/6 か年（目標）
67 件（令和 4 年度から令和 6 年度までの実績）
- THE 世界大学ランキング
国内 第 20 位/144 大学↑（24-40/119 から上昇）
九州 第 2-3 位/11 大学↑（3-4/11 から上昇）

[病院運営]

最新月次診療実績（令和 7 年 7 月）

- 大学病院（一般 638 床、精神 22 床、休床 4 床）
病床稼働率 91.5%
一日外来患者数 1184.8 人
- 若松病院（一般 133 床、地域包括ケア 17 床）
病床稼働率 93.1%
一日外来患者数 295.4 人

病院経営

- 診療総点数は概ね予算目標を達成しているが、高額薬剤の利用、光熱費、材料費、人件費の高騰で利益率は低迷
- DPC 期間 II 退院率（全国平均在院日数）の割合向上が課題

[社会貢献]

- 厚生労働大臣表彰功労賞
堤 明純 先生（北里大学医学部公衆衛生学 教授）
- 厚生労働大臣表彰功績賞
川本俊弘 先生（公益財団法人安全衛生技術試験協会理事・中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター所長）
- 緑十字賞
榎原 毅 先生 産業医科大学人間工学研究室教授
一瀬豊日 先生 産業医科大学医学部進路指導副部長
江口 尚 先生 産業医科大学産業生態科学研究所副所長
岡崎浩子 先生 三井化学株式会社人事部健康管理室
- EXPO2025 イベント ILO Youth Congress において産業医科大学 A チーム（石渡陽介、宮城一心、田代莉子、佐藤桜花、医学部 3 年生 2 名、産業保健学部 3 年生 2 名）が「2025 年日本国際博覧会協会賞」受賞（7 月 17 日）。第 1 位は Mahidol 大学、特別賞 2 チームは米国 Brigham 大学（日本 ILO 協議会賞）と産業医科大学、その他国立台湾大学、香港科学技術大学、大阪大学、岡山大学、大同大学も最終選考参加。司会は向井亜紀さん（氏田由可先生の高校同級生）、当日は荻野目洋子さんも出演
- 産業医科大学 国際シンポジウム 2025 を開催予定 日時は 11 月 14 日（金）午後から 11 月 15 日（土）。テーマは“Inclusive Occupational Health -Advancing Beyond Well-Being through Diversity from Epidemiology to Green Transformation-”

[業務運営]

- 退職教授（令和 7 年 3 月 31 日）
第 1 解剖学 東 華岳
医学概論 藤野昭宏
第 1 内科学 田中良哉
公衆衛生学 松田晋哉
作業環境計測学 石松維世
広域・発達看護学 實崎美奈
- 新任教授（令和 7 年 4 月 1 日）
第 1 解剖学 本田岳夫

医学概論 石丸知宏

第1内科学 中山田真吾

公衆衛生学 中田光紀

作業環境計測学 樋上光雄

- 退職教授（令和8年3月31日）

精神医学 吉村玲児

第2外科学 田中文啓

産業保健経営学 森 晃爾

呼吸病態学 森本泰夫

健康開発科学 大和 浩

- 教授選考中

精神医学

第2外科学

産業保健経営学

呼吸病態学

健康開発科学

スポーツ医学（新設）

- 新職員宿舎

キャンパスマスタープラン2023に基づき、昨年8月から新職員宿舎の整備を進め、本年2月28日に竣工、引き渡しを受けた。当該宿舎は本学で初めての民間事業者を活用した方式（Build Operation Transfer方式）で整備している。

- 大学基準協会機関別認証

第3期

2019年度に自己点検評価報告書を提出

2020年度に受審

2021年度から適合認定（2021年4月～2028年3月）

是正勧告1件、改善課題1件について改善報告書を提出

第4期

2026年度に自己点検評価報告書の提出予定

- JACMEによる医学教育分野別評価

2022年度に受審

学修成果を基盤としたカリキュラムの整備、診療参加型臨床実習の一層の充実、学修成果達成度の段階的な評価など指摘された課題を改善中

- 産業医大未来構想2040 長期ビジョンの実現に向けた努力

- 第4次中期目標・中期計画（令和4～9年度）の推進

- 第5次中期目標・中期計画（令和10～15年度）の策定

3. 担当理事報告

1) 会長（西）

- 2025 年 5 月 25 日～2025 年 9 月 27 日
 - 6 月 30 日 医学部 1 年生総合セミナー講演 産業生態科学研究所
 - 7 月 10 日 研修・教育担当の研修会（熱中症対策）
 - 7 月 17 日 ILO ユース कांग्रेस（関西万博）学生交流
 - 7 月 21 日 OHAS-Neo2025
 - 8 月 1 日 労働衛生会館への挨拶（第 37 回大会）
 - 8 月 8 日 厚生労働省労働衛生課訪問（第 37 回大会）
 - 8 月 16 日 櫛風会総会懇親会（来賓）
 - 8 月 28 日 産業医学振興財団・大学東京事務所訪問（第 37 回大会）
 - 8 月 28 日 開学 40 周年記念事業委員会・産業医大ソリューションズ訪問
 - 8 月 29 日 産業医大への挨拶（37 回大会）
 - 9 月 1 日 OHAS-Neo 打合せ
 - 9 月 20 日 大学学生合同フォーラム・合宿、保健学部研修会（動画挨拶）
 - 9 月 26 日 大学「産業医学 I」講義（医学部 1 年生）
- Zasso（理事の雑談・相談機会）を 6 月～9 月に月 1 回実施
- 櫛風会から原稿依頼、大学学会学会長賞推薦
- 医学部同窓会関係（副会長）：総会対応（メール）、私立医科大学西部会出席

1－2) 審議事項

- 36 期第 2 回理事会の議論を踏まえて、OHAS-Neo2025 を産推研の会の目的である「会員相互の医学的知識の向上及び親睦を図るとともに、産業医学に関する進歩発展並びにその普及に寄与すること」に則して、若手の会員に対して産業医学・産業保健の基礎を体系的に学べる機会として実施した。34 名（医学科卒 31 名、看護科卒 5 名、産業衛生科学科 2 名、特別会員 3 名）が参加し、事後アンケートでは高い満足度を得た。収支は 93,946 円の支出超過であり、これを理事会企画費から支出したい。
- 37 期以降の OHAS-Neo 継続について理事会に審議した。結果として、参加理事全員が継続に賛成し、理事会として承認された。より効果的で、適切で、継続可能な事業運営となるように他の類似の研修会との目的や役割のすみ分けや、運営体制、収支などを改良していくことになった。

2) 総務（佐藤、中谷）

会員管理

- 2025 年 9 月 23 日時点の会員総数は 927 人となっている。
- 会費未納の会員に対して会費納入を依頼と会員継続意向を確認して対応した結果 100 人ほど会員が減少したが、その後新規会員が増えている。

会則管理

- 理事会で審議の上、4月5日付で会員施行細則7（特別会員）を改正し、5月13日に会員へ通知した。（旧）～中略～なお、原則として産業医科大学の常勤の教育職員のみ入会が認められる。（新）～中略～なお、原則として産業医科大学の常勤の教育職員および産業医科大学の各 教室・研究室・センター等に所属を持つものを特別会員の入会資格とする。

2-2) 審議事項：施行細則22（理事補佐の新設）

- 現在、会の運営業務を行う上で一部の担当理事に負担が集中する事案が発生している。一方、施行細則3により理事定数には限りがあるため、理事を増員することは理事会の審議を経て行われることとなる。また、理事の担当を引継ぐ際に引継ぎ候補と並行して業務を行うことが難しい。その結果、理事を引継ぐ候補者を要請しにくい状況も生じている。このような課題を解決するため、理事補佐を新設することを提案する。理事補佐は、理事を補佐しながら理事業務を経験し、次世代の理事候補となることが期待される。
- 【施行細則22】理事会は、各担当理事の活動を補佐する理事補佐を担当理事毎に正会員の中から若干名指名することができる。2.任期は、指名されてから次の理事改選までの間とする。3.理事補佐は、理事会に出席することができる。ただし、議決権は有しない。】の新設条文について審議され、理事2/3以上が賛成し、承認された。

評議員会について

- 4月12日 17:00～19:00 に令和7年度評議員会をオンラインで開催した。詳細は第36期第2回理事会議事録に記載のため、ここでは省略する。

功績賞について

- 第2期選考委員会を発足した。評議員から候補者の推薦を受け、9月18日に選考委員会を開催した。結果、鈴木昌絵さん、松尾玲奈さん、渡邊聖二さんを受賞候補者に挙げた。
- 受賞候補者について理事会にて審議し、理事2/3以上が賛成し、承認された。

4) 広報（山瀧、山下、山本、荒木）

報告内容

- 産推研/メンバーシステム HP について
 - 産推研 HP は鈴木さんに委託している。
 - サーバをお名前.comの有償サーバで運用している。
 - 9月8-10日に閲覧不能となる事象が発生
 - 会員限定情報はメンバーシステム HP を利用している。
- 産推研 ML の運用 について

- 884 人、1105 件に配信している（2025 年 9 月時点）。
- 配信漏れ・遅れが発生している。（メールアドレスの複数登録を奨励）
- メルマガ発行
 - 年 4 回、地方会予定などを掲載している。
 - メンバーシステムからの不達が 42 人ある。
- 産推研紹介動画作成（※限定公開のため、この PDF ファイルでは URL を省略。
URL は 2025 年 6 月 11 日 投稿 の産推研 ML [SSK:007707]に記載。）
- 評議員 Slack 作成
 - 評議員 ML 登録更新

今後の検討内容

- 産推研の認知向上、
 - 学生・卒業生の認知と参加の促進
 - 産業医科大学学生諸君に贈る歌・行事などで流し認知向上を図る
 - 産推研紹介動画の更新と活用
- メルマガを年 4 回配信
 - 2025 年第 1 号（2 月配信）、臨時号（5 月配信）
- 産推研 HP と媒体の活用
 - 新サーバの機能活用
- 産推研 HP 更新作業を随時進めている

産推研 HP の閲覧不能

- 経緯：年 1 回の支払いの自動化を検討しており、支払い方法は更新済と認識していた。
閲覧不能が発覚し、確認したところ料金未納となっていた。
- 対応：問い合わせるも「確認中、待つように」との回答のみであった。会計に料金振込
を依頼したところ再開された。
- 原因：支払い方法切替状況の認識に相違があった。
- 再発防止策：口座振替への切り替え済を確認する。

5) 研修・教育（増田、楠本、樋上）

第 36 期活動

- OHAS-Neo 2025（7 月 21 日開催）：増田理事が講師（の一人）を担当
- 理事会主催研修会：熱中症について（7 月 10 日開催）
黒崎 靖嘉 先生（三菱電機株式会社神戸製作所（長崎）産業医）
永野 千景 先生（産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師）
- 今後の活動方針・予定：年 1 回程度、各地方会とは別に研修会等を開催

6) 学術（池上、喜多村、久保） 業務内容と活動報告

- 産業医学推進研究会の学術面からのサポート：0 件
- 産業医学推進研究会が主体として実施する研究への支援：0 件
- 会員向け調査の内容の確認：0 件
- 産業医科大学と産業医学推進研究会の学術面での連携の窓口：0 件
- 2025 年 10 月 11 日（土）産業医科大学学会が開催予定であり、学会長賞の候補者推薦を進めている。
 - 浅海 洋 先生（九州旅客鉄道株式会社健康管理室長・産業医）を推薦する
- 産業医科大学学会総会学会長賞における候補者調整について
今回、おきゅなすの会、アリスの会からの候補者は見送り。
アリスの会の大津先生から、3 団体で候補者を調整し、1 名を選出するのはどうかという提案があった。

7) IT（清水、橋元、倉岡）

- Zoom Pro 共有ライセンス契約は終了し、今後は利用時に各理事が月間契約を結ぶ方式に切り替えた。
- Slack を使った匿名投稿の方法について紹介 1 メッセージでスラッシュ「/」を入力 2 Send anonymous message を選ぶ 3 チャンネルを選択 4 タイトルとメッセージを入力 5 Send

8) 監事（加藤）

- 2025 年 9 月末で現在の理事の任期終了となり、理事選挙を開催した。
- 選挙結果は以下のとおり
 - 会長 西 賢一郎（医 20 期卒）
 - 総務担当理事 佐藤 裕司（医 12 期卒）、松尾 玲奈（看 1 期卒）
 - 会計担当理事 守田 祐作（医 24 期卒）、本田 桐子（専 16 期卒）
 - 学術担当理事 池上 和範（医 20 期卒）、井上 由貴子（看 13 期卒）、石上 温（環マネ 5 期卒）
 - 研修・教育担当理事 増田 将史（医 18 期卒）、楠本 真理（看 2 期卒）、樋上 光雄（衛 3 期卒）
 - 広報担当理事 山瀧 一（医 15 期卒）、深井 恭佑（医 26 期卒）、栗田（山下）奈々（看 11 期卒）、荒木 譲司（環マネ 7 期卒）
 - IT 担当理事 清水 少一（医 20 期卒）、橋元 仁美（看 8 期卒）、倉岡 宏幸（環マネ 5 期卒）

4. 地方会報告

1) 関東（小笠原）

- 関東地方会第 86 回研究会
日程：2025 年 2 月 8 日（土）14:00～17:00
テーマ：産業保健の日常業務の課題共有
講師：
①産業保健における頭痛 横山雅子 先生（富士通 産業医）
②職場巡視 遠藤武尊 先生（SUBARU 産業医 医 28）
会場：日本橋ライフサイエンスハブ 8F（現地開催のみ）
参加者数：13 名
- J-ECOH スタディ第 136 回検討会（アリスの会・産推研関東地方会後援）
日程：2025 年 3 月 8 日（土）14:00～17:00
会場：TKP 神田ビジネスセンター5 階 502 号室 参加者数：25 名
- 関東地方会第 87 回研究会
日程：2025 年 7 月 5 日（土）14:00～17:00
テーマ：職場の喫煙対策 講師：産推研関東地方会事務局（菊地先生、横谷先生、渡辺先生） 内容：（前半）事例紹介 2 題 / （後半）ワーク
懇親会：17:30～ @ピッツェリアポンテチェントロ日本橋店
- 関東地方会会計報告があった。

1－2）第 37 回全国大会開催準備報告

日程：2025 年 10 月 18 日（土）

場所：東京都台東区浅草 台東館（現地開催のみ）

実行委員長：坂本宜明（医 19）、清本芳史（医 20）、楠本真理（看 2）、西浦千尋（医 21）

事務局メンバー：会場及びグループワーク、託児所係（坂本、長濱、江口、福中、小森、木村、渡瀬）／体力測定係（楠本、坂口、佐々木（規）、駒井）／懇親会係（楠本、桃井、駒井、田中）／講演係（清本、末広、堀、江口）／会計係（西浦、小森）／プロフィール 集め（清本、瀧上）／記録集・写真（西浦、大津）

【企画概要】

テーマ：学ぶ×動く×つながる∞産推研

プログラム：第 1 部（基調講演） 藤原新（あらた）様 「トップアスリートの過去・現在・未来～運動生理学を活用した飛躍、プロ ランナーとしての日々、監督としての選手・競技への関わり～（仮題）」 第 2 部（運動セッション） 体力測定・運動について 第 3 部（交流促進） ディスカッション企画 参加費：5,000 円 懇親会：台東館 8 階 精養軒

【その他】

参加者を増やすために案内していく。

寄付の希望が複数あり、寄付の受け入れを整備し案内する。

2）東海（高畑）

- 東海地方会第 32 回研究会
 日程：2025 年 8 月 30 日（土）13:30～16:45
 会場：現地（ウインクあいち）＆オンライン開催
 プログラム：
 ＜基調講演＞樋上 光雄 先生（産業医科大学 産業保健学部産業衛生科学科 作業環境計測制御学）
 ＜活動報告＞古川 詩織 先生（トヨタ自動車，衛生学科 6 期卒）「労働衛生スタッフとしての 20 年」
 ＜ワークショップ＞「産業保健職が関与する裁判事例」「外国人労働者への対応」「熱中症対策」「生活習慣病対策・肥満対策」
 参加者：39 名（会場 24 名、オンライン 15 名）環マネ卒者 9 名参加
- 今後の予定
 - 医学部 5 年生に対する産推研説明会・意見交換会（東海） 2025 年 12 月 3 日
 19:00～20:30 にオンライン形式で開催予定
 - 第 33 回東海地方会研究会 2026 年 3 月頃開催予定
- 東海地方会会計報告があった。
- 第 38 回全国大会の開催予定
 日程：2026 年 10 月 24 日（土）
 会場：ウインクあいち 5 階小ホール（名古屋駅桜通口から徒歩 5 分）

3) 近畿（深井）

- 近畿地方会第 52 回研究会
 日程：2025 年 4 月 13 日（日）10:30～12:30
 会場：MEETING SPACE AP 大阪駅前 会議室 A（後日オンデマンド配信）
 プログラム：
 1. マインドフルネス ～食べる瞑想～ 食事とマインドフルネスの面白い組み合わせを体験（講師）福田郁巳先生（トラストチャーム、看 8）
 2. 教えて！専門医シリーズ ～MASLD/MASH（代謝機能障害関連脂肪性肝疾患）（講師）森野加帆里先生（神戸労災病院 消化器内科 副部長、医 29）
 参加者数：現地 14 名、オンデマンド登録 37 名
- 若手医師歓迎会
 日程：2025 年 8 月 21 日（木）18:30～21:00
 会場：大阪市内
 参加人数：13 名
- 近畿地方会会計報告があった。

4) 九州（浅海）

- 九州地方会第 56 回研究会
 日時：2025 年 7 月 26 日
 会場：現地（小倉）、
 参加者数：31 名（産業医 5 名、産業看護職 21 名、衛生管理者 2 名、教員 2 名、学生 1 名）
 テーマ：生成 A I は産業保健スタッフに有用かー現場での使い方から、応用可能性までー
 登壇：
 吉武 英隆（医 33 期卒）「産業保健実務における生成 A I の活用」
 中尾 由美（専 9 期卒）「産業保健分野における生成 A I 活用の懸念事項と今後の期待」
 安藤 肇（医 28 期卒）「生成 A I の基礎と最近の活用法」
 座長：
 井上 由貴子（看 7 期卒）
 西村 恭子（看 13 期卒）
- 今後の活用予定
 - 九州地方会第 57 回研究会（2025 年 10 月 11 日）産業医大学会との共同開催
 - 九州地方会第 58 回研究会（2026 年 2 月 7 日）産業衛生学会九州地方会医部会との共同開催
 - 後援：
 - 2026 年 3 月 第 37 回九州アルコール関連問題学会（北九州）
 - （2026 年 2 月 第 44 回福岡県アルコール関連問題 市民公開セミナー）
 - 大人の遠足（仮）の計画中（2026 年春ごろ）
- 九州地方会会計報告があった。
 物価高騰もあり、会場費と懇親会費などの支出が増えている。

5. 医学部同窓会、櫛風会

- 今回は特記事項なし

6. 今後の日程

- 第 37 期全国大会・第 37 期総会 2025 年 10 月 18 日（土）

以上